

大学生9人に「本音」話す

「地元就職し
たい」と市権
松阪市主権の初の「企
業と若者がつながる場つ
くり事業」が15日午後1
時半から、同市日野町の
市産業振興センターカ
リヨン別館で、「企業の本
音や裏話を聞いてみよ
う」と題して開かれた。
県南部を中心に県内一円
から集まった大学生9人
が、三重化学工業(株)(本
社〓松阪市大口町、山
大輔社長)の若手営業部
員の山川輝さん(30)と
三村哲也総務部部长(61)

から「本音や裏話」を聴
き、質問をぶつけた。
この事業は、大学生に
地元就職を促す狙いで初
めて行ったもの。市産業
支援センターの福井一晃
副センター長は「松阪市
にキラッと光る技術を持
つたり、素晴らしい物を
造っている企業があるこ
とを紹介し、それが最終
的に地元就職を促すこと
につながれば」と話す。
三重化学工業への就職
を促すという意味合いは

中央町の北村俊治社
長、(株)サイクルハウスミ
ヤタ(本社〓大黒田町)
の宮田博司社長、斉藤自
村弘樹社長、日本写真判
定(株)(松阪事業所〓春日
町)の佐波辰則さん、(株)
フェイスリーディングア
社、高田短期大学(津

町)制作部の水口真奈さ
んと森本麻矢さん、(株)柳
屋奉善(中町)の岡久司
社長、高田短期大学(津

とつても高級な物が使わ
れています」「O157
による食中毒が発生して
学校給食の衛生管理基準

「屁(へ)」に結び付く
「へ」は使われないとい
つたうちを披露して
いた。



テーブルの上に
置かれた製品を
示しながら説明
する山川さん
(真ん中)

〓日野町で

援する事業)の
対象となった同
社に依頼。次年
度からは複数の
企業を公募して
選ぶ考え。

なく、地元へ目を向けさ
せるきっかけの一つにし
たい考え。今回は試行段
階として、本年度、市の
中小企業ハンズオン支援
事業(1社を集中的に支

この日は、山川さんが
主力製品の作業用手袋や
業務用保冷剤「スノーパ
ック」、メディカル分野
の「メディアン」ブラン
ド製品を紹介したり、地

域支援の取り組み、社内
のレクリエーション活動
などについて説明。また、
三村さんは社員数や、社
員の年齢層、平均勤続年
数、年度別離職者数まで
詳細な数字を見せ、福利
厚生内容を披露。採用す
る側から見た就職するに
当たっての気構えを助言
する一幕もあった。
後半は2グループに分
かれ、山川さんと三村さ
んを交えてのワークショ
ップ形式で、同社の製品
とパンフレットを見比
べ、若者の目から見た率
直な感想を言い合っ
た。

言わせて

ズムなどベストなパフ

日真気いよらこら

企業ファイル

郷土に生きる

《289》

効率良く作業ができ
るよう造られている
牛舎〓大紀町野原の
ジーファームで